

平成 25 年 10 月 7 日

平成 25 年度 第 1 回 高槻市中心市街地活性化協議会

日 時：平成 25 年 10 月 4 日（金）午後 2 時～4 時

場 所：高槻商工会議所 4 階 大ホール

出席者：協議会会員 25 名

事務局：高槻商工会議所

高槻都市開発株式会社

市担当課：高槻市産業振興課

1 開 会

○開会あいさつ 高槻市中心市街地活性化協議会 会長 小山洋三氏

○市 あいさつ 高槻市 市長 濱田剛史氏

○定足数の報告

会員総数 27 名中、出席者 25 名で規約第 7 条第 4 項により定められた定足数（過半数 14 名）を満たしている旨が報告された。「平成 25 年度 第 1 回 高槻市中心市街地活性化協議会」が有効に成立していることを確認。

2 報 告

○平成 24 年度高槻市中心市街地活性化基本計画記載事業の進捗について

報告者 （1）高槻市産業環境部産業振興課

（2）西日本旅客鉄道株式会社

（3）J R 高槻駅北東地区開発事業まちづくり協議会

6 月に内閣府に報告した結果に基づき、「平成 24 年度 第 1 回 高槻市中心市街地活性化基本計画記載事業エリアごとの進捗状況」について、説明が行なわれた。

内容は、「駅北ゾーン」「駅間ゾーン」「駅南ゾーン」の 3 ゾーンでの実施事業、ならびに「場所を特定せずに進めている事業」について、平成 24 年度に進捗状況と、次年度以降に残された課題について説明が行なわれた。

また、今年度は、実施団体の中から 2 団体に担当基本計画の進捗について、発表してもらった。

（1）高槻市産業環境部産業振興課

本市の中心市街地活性化基本計画は、本市の玄関口である J R 高槻駅、阪急高槻市駅

周辺の約 150ha の街区で、ハード事業・ソフト事業合わせた 67 事業を一体的に推進することにより、魅力ある街区の形成、賑わいの創出を図るものである。

進捗別の事業数は、完了している事業の内、市が 14 事業、民間等が 15 事業となっており、未着手の事業は、市が 2 事業、民間が 2 事業である。着手している事業は、34 事業である。未着手の 4 事業については、その原因と今後の事業の展開について早急に分析する必要があると考えている。

駅北ゾーン

J R 高槻駅北東地区にて、4 月に公開デッキが開通し、9 月には西武百貨店東側のデッキに面するエリアに「高槻ミュージックコート」がグランドオープンした。

また、公共交通の面では、J R 高槻駅ホーム拡充の事業化に向け関係者の合意形成が図られた。

次に、大阪府ならびに高槻市が行っている周辺道路等の整備についてであるが、駅北ゾーンでは、「都市計画道路 古曽部天神線改良工事（古曽部天神線）」、それに続く「都市計画道路 古曽部天神線改良工事（西国街道線）」「ボトルネック交差点の改良（別所交差点）」「弁天踏切橋梁化・高次都市施設（踏切の高架化）」などがある。

「古曽部天神線」については、狭い歩行者専用道路であったが、都市計画道路としての整備を実施した結果、現在は、車道と歩道を確保できている。「西国街道線」についても都市計画道路としての整備を行う予定で、現在、用地買収を進めているところである。

次に、「別所交差点」であるが、混雑が著しい交差点であったが、西側流入部に南に向けての右折レーンを設置し、自動車交通円滑化を図ることができた。

また、平成 22 年 12 月に完成した事業ではあるが、これまで「開かずの踏切」とされていた「弁天踏切」についても高架化を行い、中心市街地の回遊性向上を図った。

駅間ゾーン

北と南を結ぶ重要拠点である駅間ゾーンでは、駅前商業施設である「グリーンプラザ 1 号館」で店舗誘致が進められ、新規出店が促進された。また、その周辺地域においても、不法駐輪への対策として高槻駅前郵便局の敷地内と南側道路にロック式駐輪設備が新たに設置された。

グリーンプラザの前に位置する「J R 高槻駅南側の人工デッキ」は、老朽化やバリアフリー化が課題となっていたので、「J R 高槻駅南人工デッキバリアフリー化・高質空間形成施設事業」にて、平成 21 年度より工事を順次、進めてきた。

前年度までに、エスカレーター、エレベーター等の設置を終え、平成 24 年度は、デッキ中央部に屋根を設置し快適な歩行空間を確保した。今年度以降も引き続き、路面タイヤ・転落防止柵、デッキ裏面の朽隠し取替え、そして涼感を演出するためのドライ型ミスト設置に取り組んでいく予定である。

駅南ゾーン

まず阪急高槻市駅南地区について、南の玄関口として、安全・安心な“みち”づくりが推進され、府・市・地元との意見交換と情報共有が行われている。

また、市民会館などの文化施設の再整備検討事業については、文化振興審議会の開催、アンケート調査等により識者や市民の意見を集約するなどの検討を進めている。

城跡公園の再整備についても、各種調査等を行うとともに、老朽化した公園施設の更新や花壇の整備を行っている。

今後は、中心市街地の回遊性を駅間から駅南まで広げる意味においても、商店街も含めた城跡公園と市民会館との総合的・一体的な整備に向けてより積極的に取り組んでいく必要がある。

場所を特定しない事業

中心市街地全体を対象とし、回遊性向上に向けた地域情報発信事業としては、中心市街地活性化協議会による「高槻まちセリ」のほか、有志のグループによる「たかつきバル」「唄まきステーション」など、各種のイベント等が年間を通じて開催されている。

今後も、中心市街地全体の魅力向上という観点をもって、安全安心のまちづくりや、地域情報発信事業等への取り組みを実施していくために、各実施主体のさらなる連携が期待される場所である。

(2) 西日本旅客鉄道株式会社

J R 高槻駅ホーム拡充についての説明

(3) J R 高槻駅北東地区開発事業まちづくり協議会

J R 高槻駅北東地区の再開発についての説明

3 会員からの情報提供

学校法人関西大学 高槻事務局	次長	稲田 一豊氏
学校法人大阪医科大学 総合企画部	部長代理	水嶋 泰之氏
グリーンプラザたかつき1号館入店者会	会長	杉岡 宗雄氏
芥川商店街事業協同組合	代表理事	佐々木 晶氏
高槻城北通事業協同組合	理事長	中本 耕二氏
阪急高槻南駅前通り商業振興会	理事長	池本 博行氏
アクトアモーレ店舗会	副会長	荘田 賢一氏
たかつき中通り本通り商店街振興会	会長	中川 修一氏
ミング・阪急高槻商店会	事務局長	有田 清 氏 ほか

4 平成24年度及び平成25年度中心市街地活性化事業について

報告者 高槻都市開発株式会社

○平成 24 年度中心市街地活性化事業

「第 1 回高槻まちセリ」の開催

- 2/ 7(木) 全体ガイダンスと商店街イベント
- 2/14(木) お店の商品戦略・店頭演出についての講義
- 2/21(木) お店のプロモーションと固定客づくりの講義
- 2/28(木) イベント実践演習①：お店の強み抽出・出品商品決定
- 3/ 7(木) イベント実践演習②：商品提案シナリオ検討・
- 3/16(土) 「第 1 回高槻まちセリ」の開催

○平成 25 年度中心市街地活性化事業

「第 2 回高槻まちセリ」の開催

- 10/10(木) 商店街活性化の取組、商品戦略について
- 10/17(木) 固定客づくり、自店のプロモーションストーリー作成
- 10/24(木) イベント実践演習 1 (お店の強み抽出とまちセリの商品検討)
- 10/25(金)～個別訪問 (“まちセリ” イベント当日の個別アドバイス等)
- 11/6(水)
- 11/7(木) イベント実践演習 2 (まちセリの商品決定及びまちセリ模擬演習)
- 11/16(土) 「第 2 回 高槻まちセリ」の開催

5 平成 2 6 年度中心市街地活性化事業について

報告者 高槻市産業振興課

高槻市中心市街地活性化基本計画は平成 2 6 年度が最終年度であること、計画終了後の内閣府への報告に向けて各団体の理解と協力が重要となること等が説明された。

6 意見交換等

○今後について

引き続き、相互に連携して各事業に取り組むこととなった。

7 閉 会

- 高槻市中心市街地活性化協議会 副会長 木ノ山 雅章氏